

COMMODITY ORDERING SYSTEM, COMMODITY ORDERING SERVICE COMPUTER, AND COMMODITY ORDERING IDENTIFICATION INFORMATION OUTPUT METHOD

Publication number: JP2002056307

Publication date: 2002-02-20

Inventor: NISHINO ATSUSHI

Applicant: NISHINO ATSUSHI

Classification:

- international: G06Q30/00; G06Q50/00; G06Q30/00; G06Q50/00;
(IPC1-7): G06F17/60

- European:

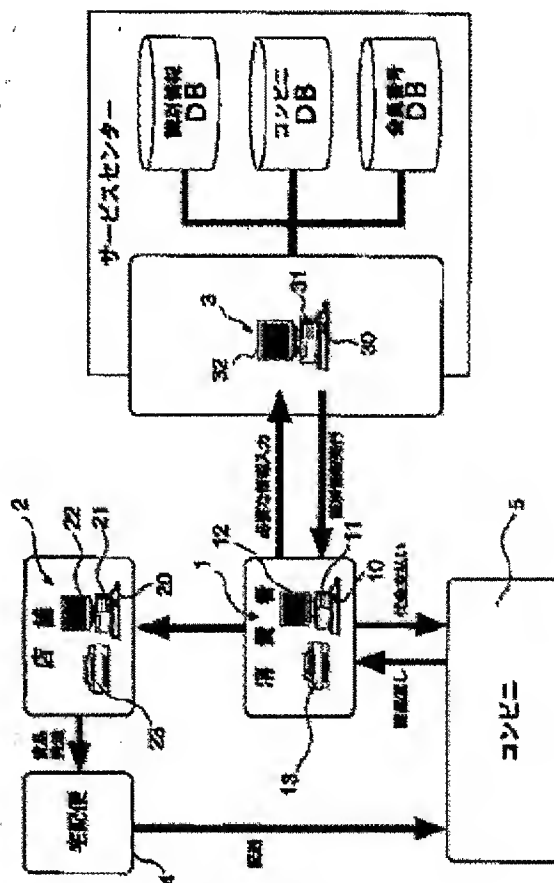
Application number: JP20000241805 20000809

Priority number(s): JP20000241805 20000809

Report a data error here

Abstract of JP2002056307

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve a problem that an ordered commodity cannot be delivered at a convenience store to a person other than a recipient described on a slip because the person cannot be confirmed as the recipient in the past. **SOLUTION:** This commodity ordering system comprises a consumer computer 1 for transmitting the commodity order information, a shop computer 2 receiving the commodity order information transmitted from the consumer computer 1, and a service computer 3 connectable to the consumer computer 1. The service computer 3 issues the identification information capable of collating the correlation between the ordered commodity and the recipient of the commodity at commodity delivery. The recipient is informed of the identification information, the identification information is described on the slip via the shop computer 2, the identification information is collated at a delivery place, e.g. the convenience store, and the commodity is delivered.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-56307

(P2002-56307A)

(43) 公開日 平成14年2月20日 (2002.2.20)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/60

識別記号

3 3 4

Z E C

3 1 0

F I

G 0 6 F 17/60

テーマコード* (参考)

3 3 4

5 B 0 4 9

Z E C

3 1 0 A

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願2000-241805 (P2000-241805)

(22) 出願日 平成12年8月9日 (2000.8.9)

(71) 出願人 500370551

西野 淳

京都府京都市北区紫野西野町65-1 グローバル紫野202

(72) 発明者 西野 淳

京都市北区紫野西野町65-1 グローバル紫野202

(74) 代理人 100085338

弁理士 赤澤 一博

Fターム(参考) 5B049 AA01 BB11 CC05 CC08 EE05

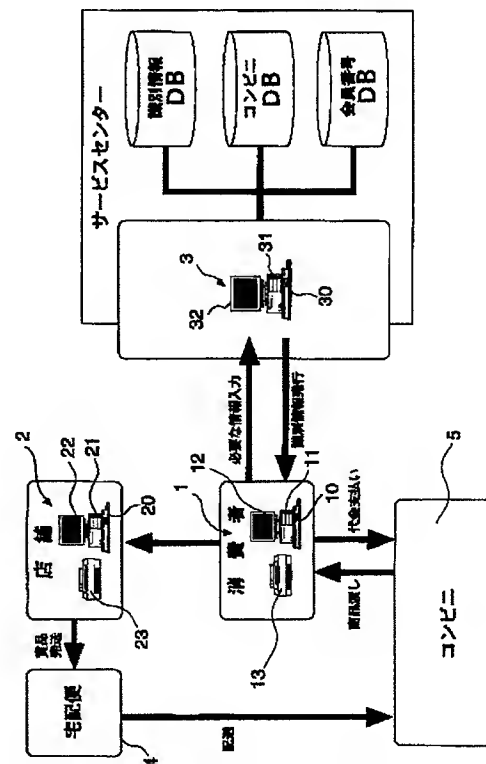
GG04 GG07

(54) 【発明の名称】 商品注文システム、商品注文用のサービスコンピュータおよび商品注文用の識別情報出力方法

(57) 【要約】

【課題】 従来、注文した商品をコンビニで受け取る場合、伝票に記載されている者以外の者が受け取りに行っても、本人の確認ができないためその商品を受け渡すことができなかった。

【解決手段】 商品の注文情報を送信するための消費者コンピュータ1と、この消費者コンピュータ1から送信された商品の注文情報を受信する店舗コンピュータ2と、当該消費者コンピュータ1に接続可能に設けられたサービスコンピュータ3とによって商品注文システムを構成する。そして、注文商品とこの商品の受取人との対応関係を商品受取時に照合できるような識別情報をサービスコンピュータ3で発行する。そして、この識別情報を受取人に識別情報を知らせるとともに店舗コンピュータ2を介して伝票に記載して、受取場所であるコンビニなどでその照合を行って商品を引き渡す。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】商品の注文情報を送信するための消費者コンピュータと、当該消費者コンピュータから送信された商品の注文情報を受信する店舗コンピュータと、当該消費者コンピュータもしくは店舗コンピュータに接続可能に設けられたサービスコンピュータとから成る商品注文システムであって、注文された商品とこの商品の受取人との対応関係を商品の受取時に照合するための識別情報を発行する識別情報発行手段と、前記識別情報発行手段によって発行された識別情報を、前記消費者コンピュータまたは店舗コンピュータに送信する送信手段と、を備えた商品注文システム。

【請求項 2】商品の注文情報を送信するための消費者コンピュータと、当該消費者コンピュータから送信された商品の注文情報を受信する店舗コンピュータと、当該消費者コンピュータもしくは店舗コンピュータに接続可能に設けられたサービスコンピュータとから成る商品注文システムであって、商品の注文主に関する住所もしくは氏名をサービスコンピュータに登録する登録手段と、前記登録手段によって注文主に関する住所もしくは氏名が登録されていることを条件として、注文された商品と受取人との対応関係を商品受取時に照合するための識別情報を発行する識別情報発行手段と、前記識別情報発行手段によって発行された識別情報を、前記消費者コンピュータまたは店舗コンピュータに送信する送信手段と、を備えた商品注文システム。

【請求項 3】商品の注文情報を受信するための消費者コンピュータおよび当該消費者コンピュータから送信された商品の注文情報を受信する店舗コンピュータとは別体に設けられ、当該消費者コンピュータもしくは店舗コンピュータに接続可能に設けられた商品注文用のサービスコンピュータであって、商品の注文主に対する住所もしくは氏名を登録する登録手段と、当該登録手段によって注文主に関する住所もしくは氏名が登録されていることを条件として、注文された商品と受取人との対応関係を商品の受取時に照合するための識別情報を発行する識別情報発行手段と、を備えた商品注文用のサービスコンピュータ。

【請求項 4】商品の注文情報を送信するための消費者コンピュータおよび当該消費者コンピュータから送信された商品の注文情報を受信する店舗コンピュータとは別体に設けられ、当該消費者コンピュータもしくは店舗コンピュータに接続可能に設けられた商品注文用のサービスコンピュータであって、商品の注文主に関する住所もしくは氏名を登録する登録手段と、配送される商品の受け取り場所を記憶する記憶手段と、前記消費者コンピュータからの検索入力に基づいて当該記憶手段に記憶されている受取場所を検索する検索手段と、当該検索手段によって検索された受取場所が確定された場合、前記登録手段によって注文主に関する住所もしくは氏名が登録され

ていることを条件として、注文された商品とこの商品の受取人との対応関係を商品受取時に照合するための識別情報を発行する識別情報発行手段と、を備えた商品注文用のサービスコンピュータ。

【請求項 5】商品の注文情報を送信するための消費者コンピュータと、当該消費者コンピュータから送信された商品の注文情報を受信する店舗コンピュータと、当該消費者コンピュータもしくは店舗コンピュータに接続可能に設けられたサービスコンピュータとから成る商品注文システムに使用される方法であって、注文された商品とこの商品の受取人との対応関係を商品の受取時に照合するための識別情報を出力するステップと、当該識別情報を前記消費者コンピュータまたは店舗コンピュータに送信するステップとを備えた商品注文用の識別情報出力方法。

【請求項 6】商品の注文情報を送信するための消費者コンピュータと、当該消費者コンピュータから送信された商品の注文情報を受信する店舗コンピュータと、当該消費者コンピュータもしくは店舗コンピュータに接続可能に設けられたサービスコンピュータとから成る商品注文システムに使用される方法であって、商品の注文主に対する住所もしくは氏名を登録するステップと、前記注文した商品の受け取り場所を検索するステップと、前記検索された受け取り場所が確定されたか否かを判断するステップと、前記検索された受け取り場所が確定された場合、前記住所もしくは氏名が登録されていることを条件として、注文された商品とこの商品の受取人との対応関係を商品受取時に照合するための識別情報を出力するステップと、を備えた商品注文用の識別情報出力方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、オンラインで注文した商品の受け取りに関するものであり、特に、受取人が不在である場合に、その商品の受け取りを柔軟にできるようにしたシステムなどに関するものである。

【0002】

【従来の技術】現在、通信販売やインターネットなどで注文した商品をコンビニなどで受け取りできるようにしたシステムが提案されている（日経新聞 1998 年 2 月 12 日など）。このシステムは、注文した商品を近くのコンビニに配達してもらい、注文主がそのコンビニで商品を受け取れるようにしたものであって、独身サラリーマンなどのように昼間不在にしている者であっても容易にその商品を受け取れるようにしたものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、このように注文した商品をコンビニで受け取れるようにした場合、通常は、商品の伝票に記載された受取人と実際に受け取る者との同一性を照合しなければその商品の受け渡すことができない。したがって、このようなシステムでは、伝

票に記載されている者以外の者、たとえば、家族の者が受け取りに行った場合や匿名で商品を注文したなどの場合は、受取人の同一性を確認できないためその商品を受け渡すことができない。

【0004】ところで、この不在者への宅配に関する問題を解決するため、特開平8-13916号公報「宅配物保管装置」に、その受け取りに関する発明が提案されている。この発明は、宅配時に受取人が不在であった場合は、その宅配物をコンビニのロッカーに預けておき、受取人がその場所で荷物を受け取れるようにしたものであり、また、この受け取りの際、予め家庭に配布されていた「お客様カード」と、宅配不在時に投函された「配達カード」の2枚のカードを用いてこのロッカーを開けるようにしたものである。

【0005】しかし、このシステムでは、予め「お客様カード」を各家庭に配布しておかなければならないばかりでなく、宅配業者にとっても不在者宅用にカードを発行しなければならない。さらに、コンビニのロッカーにその荷物を預け入れる必要があるため、却って手間がかかるという問題を有していた。

【0006】そこで、本発明は上記問題を解決するために、より容易にかつ柔軟性を持たせて特定の場所で宅配物を受け取ることができるようにしたシステムなどを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】すなわち、本発明は、商品の注文情報を送信するための消費者コンピュータと、当該消費者コンピュータから送信された商品の注文情報を受信する店舗コンピュータと、当該消費者コンピュータもしくは店舗コンピュータに接続可能に設けられたサービスコンピュータとによって商品注文システムを構成したものであって、注文された商品とこの商品の受取人との対応関係を商品受取時に照合するための識別情報を発行し、そして、この識別情報を消費者コンピュータまたは店舗コンピュータに送信するようにしたものである。このように、発行された識別情報を、例えば、受取人に知らせるとともに店舗コンピュータを介して伝票に記載するようにすれば、代理の者が受け取りに行く場合や、匿名で商品を注文した場合であっても容易にその商品を受け取ることができる。

【0008】また、住所などが登録されていることを条件として識別情報を発行するようにすれば、配達トラブルが生じた場合でも、その識別情報を用いることで受取人の住所や氏名などの詳細情報を調べることができる。

【0009】さらに、サービスコンピュータに、商品の受取場所を検索する機能を付加し、この受取場所が確定された場合に識別情報を付与するようにすれば、識別情報を付与したにも係わらず送付先が決定できないためにこの識別情報を破棄してしまうということがなくなる。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施の形態について図面を参照して説明する。図1は、注文した商品の流通経路の概要およびシステム構成の概略を示したものである。この実施の形態におけるシステムは、商品の注文主などが使用する消費者コンピュータ1と、この消費者コンピュータ1にインターネットなどのネットワークを介してアクセス可能に設けられた店舗コンピュータ2およびサービスコンピュータ3とによって構成されるものである。

10 【0011】この消費者コンピュータ1は、店舗コンピュータ2やサービスコンピュータ3に対してインターネットなどのネットワークを介してアクセスできるようにしたものであり、携帯電話やポケット型携帯端末などのようなものでも良いが、この実施の形態では、汎用のパーソナルコンピュータを例にとって説明する。すなわち、この消費者コンピュータ1は、注文商品や注文主に関する住所や氏名などを入力する入力部10と、内部にCPUやメモリを備えとともにフレキシブルディスクなどの携帯可能な記録媒体に対して書込処理するためのドライブを備えた本体11と、インターネットを介して取得した情報などを表示する表示部12とを備え、さらに、

20 所望の情報を用紙に印字して出力するためのプリンタ13を備えて成るものである。

【0012】店舗コンピュータ2は、店舗毎に設けられる汎用のパーソナルコンピュータによって構成されたものであり、販売商品に関する情報などを入力するための入力部20と、内部にCPUやメモリなどを備えた本体21と、前述の入力部20により入力された情報などを表示する表示部22とを備え、さらに、注文を受け付けた商品に対する伝票を出力するプリンタ23とを備えて成るものである。

30 【0013】サービスコンピュータ3は、不特定多数の消費者コンピュータ1や店舗コンピュータ2に対応して一台の汎用のパーソナルコンピュータを設けて構成したものであり、消費者コンピュータ1に対して後述する識別情報を出力するほか、注文した商品の受取場所を検索できるようにしたものである。このサービスコンピュータ3は、所定の情報を入力するための入力部30と、この入力部30によって入力された情報などを表示する表示部32を備えとともに、内部にCPUや大容量のメモリなどを備えた本体31とによって構成されるものである。

40 【0014】また、4は、店舗から発送された商品を指定場所に配送するための宅配手段を示したものであり、店舗コンピュータ2のプリンタ23によって出力された伝票に基づいて発送商品を配送するシステムを示したものである。また、5は、配送された商品を集中的に預かるための集中受取地点を示したものであり、24時間営業しているコンビニを例にとって示したものである。なお、集中受取地点としては、これ以外にも、マンション

の管理人室や、ホテル、ガソリンスタンドなどを特定してもよい。

【0015】図2は、図1における消費者コンピュータ1、店舗コンピュータ2およびサービスコンピュータ3の電氣的構成を示したブロック図である。

【0016】消費者コンピュータ1は、記憶手段111に記憶されたプログラムに基づいて所定のアプリケーションを動作させるCPU110を備えたものであり、このCPU110に、記憶手段111、記録部112、および前述の入力部10、表示部12、プリンタ13を接続して設けたものである。記憶手段111は、主にプログラムなどを記憶するものであるが、本実施の形態においては、さらに、サービスコンピュータ3から送信されてきた識別情報などを記憶できるようにしたものである。また、記録部112は、本体11に挿入されたフレキシブルディスクやカードなどに対して所定の情報を書き込みできるように、フロッピー（登録商標）ディスクドライブなどによって構成したものである。また、このCPU110には、通信部113を接続しており、インターネットを介して他のコンピュータ2、3に対してアクセスできるようにしている。

【0017】店舗コンピュータ2は、記憶手段211に所定のプログラムを記憶するとともに、このプログラムに基づいて各アプリケーションソフトを動作させるCPU210を備えたものである。このCPU210には、入力部20、表示部22およびプリンタ23を本体21に接続して設けるとともに、その内部に記憶手段211と通信部212を設けている。この記憶手段211は、所定のプログラムを記憶するとともに、注文主から受け付けた商品の注文情報などを記憶させるようにしたものである。また、通信部212は、インターネットを介してサービスコンピュータ3などにアクセスできるようにしたものである。

【0018】サービスコンピュータ3は、記憶手段311に記憶されたプログラムに基づいてアプリケーションソフトを動作させるCPU310を備えたものであり、このCPU310に前述の入力部30、表示部32を接続して設けたものである。また、このCPU310には、内部メモリや外部記憶装置などで構成された記憶手段311を接続しており、具体的にはこの記憶手段311に図3などに示す情報を記憶するようにしている。さらに、CPU310には、通信部312を接続しており、インターネットを介して消費者コンピュータ1や店舗コンピュータ2にアクセスできるようにしている。

【0019】図3は、このサービスコンピュータ3の記憶手段311に記憶されている情報を模式的に示したメモリマップを示したものである。

【0020】このサービスコンピュータ3の記憶手段311には、会員番号領域311a、識別情報領域311b、コンビニ情報領域311cなどを設けている。この

会員番号領域311aには、このサービスコンピュータ3による識別情報付与などのサービスを受ける者に対応した会員番号と、この会員番号を確認するためのパスワードとを記憶し、さらに、この会員番号に対応して氏名、住所、メールアドレス、電話番号、性別、年齢などを記憶するようにしている。

【0021】識別情報領域311bには、注文された商品と受取人との対応関係を商品の受取時に照合するための識別情報を記憶し、また、この識別情報に対応して会員の会員番号などを記憶するようにしている。さらに、この発行された識別情報に対応する商品の状態、すなわち、現在その商品がどのルートを通してどの位置に存在するかなどの状態を記憶するようにしている。なお、この識別情報は、すでに会員登録がなされていることを条件に発行されるものであり、その会員の住所および氏名を特定できるように会員番号に対応づけたものである。また、この識別情報は、文字・数字・記号などを用いて他の識別情報と重複しないように構成したものである。

【0022】コンビニ情報領域311cは、注文した商品の受取場所として認定されているコンビニの情報を記憶した領域であり、コンビニ名とともにその所在地などを記憶するようにしたものである。

【0023】また、これらの情報以外にも、配達される所要日数やコンビニでの預かり日数などの情報も記憶するようにしている。

【0024】次に、このように構成されたシステムにおけるサービスコンピュータ3の識別番号発行フローを図4に説明する。

【0025】図4において、まず消費者コンピュータ1をインターネットなどのネットワークを介してサービスコンピュータ3に接続し、消費者コンピュータ1の表示部12に、図5に示す識別情報発行のトップページ320を表示する（ST1）。そして、初めての利用者によって新規登録ボタン320Aが押下された場合（ST2）、図6に示すような会員登録画面321を表示して、氏名、住所、メールアドレス、電話番号、年齢、性別などの項目を入力できるようにする（ST3）。そして、これらの項目が入力されて送信ボタン321Aが押下されると、入力した情報の確認画面を表示した後（ST4）、サービスコンピュータ3のCPU310によって互いに重複しないような会員用の登録番号を発行する。そして、図7に示すようなパスワードの入力画面322を表示し（ST5）、この登録番号に対する所望のパスワードの登録できるようにするとともに、このパスワードが入力されて送信ボタン322Aが押下されると、この登録された登録番号やパスワードの確認画面を表示した後（ST6）、登録が完了した旨の画面323を表示する。そして、終了ボタン323Aが押下されることにより（ST7）、登録処理を終了する（ST8）。

【0026】次に、この登録番号を所持している利用者が、注文商品と受取人との対応関係を示す識別情報を発行してもらうべく、図8に示す登録完了画面323に表示されている発行ボタン323Bを押下し、または、トップページ320の登録済みボタン320Bを押下して（ST10）会員番号やパスワードなどを入力した場合（ST11）は、図9に示すような識別情報の発行画面を表示する（ST12）。そして、この表示画面324の発行ボタン324Aが押下された場合は（ST13）、サービスコンピュータ3のCPU310によって、互いに重複しないような識別情報が発行され（ST14）、図13に示すように、事後的に電子メールやFAXなどを用いてこの識別情報を注文主に送付する（ST15）。

【0027】一方、ST12において商品の受け取り場所が分からない場合、例えば、出張先に注文商品を発送すべくその出張先の近くのコンビニを探すなどの場合は、図9におけるコンビニ検索ボタン324Bの押下を受け付け（ST16）、図10に示すコンビニを検索するための画面325を表示する（ST17）。そして、コンビニ名や郵便番号・住所などを入力させることによって所望のコンビニをコンビニ情報記憶領域311cから検索し、図11に示す検索結果画面326を表示する（ST18）。そして、この検索で出力されたコンビニで受け取る場合、識別情報を発行する発行ボタン326Aの押下を受け付けて、図12に示す識別情報の発行画面327を表示し、サービスコンピュータ3のCPU310で、互いに重複しないような識別情報を発行して（ST19）、事後的に電子メールやFAXなどを用いて識別情報を送付する（図13）（ST15）。

【0028】次に、このようにして識別情報の発行を受けた者が、商品の注文を行う場合、消費者コンピュータ1を店舗コンピュータ2に接続してオンラインショッピングのホームページを表示し、この表示された商品を選択することによって注文すべき商品を選択するとともに、配達先を指定する画面として図14に示すような届先指定画面328を表示する。そして、この届先指定画面328の空欄に、先に検索したコンビニ名もしくは既に把握しているコンビニ名・住所・電話番号などを入力するとともに、識別情報記入欄に既に発行されている識別情報を入力して店舗コンピュータ2に送信する。そして、これらの情報を店舗コンピュータ2側で受信すると、宅配のための伝票にこれらの商品名・配達先・識別情報などを印字してプリンタ23から出力し、発送する商品の包装物にこの伝票を貼り付ける。

【0029】そして、この伝票に記載された配達先に従って、配達業者が注文商品をコンビニに配達するとともに、受取人がこの商品を受け取る場合、コンビニの店頭で既に受信した識別情報を告げるか、もしくは、消費者コンピュータ1のプリンタ13から出力した識別情報を

提示する。そして、店員がこの伝票に記載された識別情報と受取人から告げられた識別情報を照合し、これらの識別情報が一致していることを条件に商品を受取人に引き渡すようにする。

【0030】このように、この実施の形態によれば、サービスセンター3で識別情報を発行し、この識別情報を商品の伝票に記載するとともに受取人にも知らせるようになったので、家族の者や匿名で注文した場合であっても識別情報の照合のみでその商品を受け取ることができる。また、サービスセンター3側で識別情報を発行するようにしたので、店舗側が発注伝票などを注文主に渡す必然性がなくなり、店舗側にとっても発送作業を簡略化することができる。

【0031】なお、上記実施の形態では、サービスコンピュータ3で付与された識別情報を消費者コンピュータ1に送信し、さらにこの識別情報を消費者コンピュータ1から店舗コンピュータ2に送信するようにしたが、これに限らず第二の実施の形態である図15のシステムを用いて実施することもできる。

【0032】すなわち、消費者コンピュータ1から店舗コンピュータ2に商品の注文入力および受取場所の指定入力となされた場合、この情報をもとに店舗コンピュータ2がサービスセンター3にアクセスし、識別情報を発行してもらうようにする。そして、このように発行された識別情報を店舗コンピュータ2に返信するとともに、店舗コンピュータ2から消費者コンピュータ1に対してもこの識別情報を送信する。このようにした場合は、消費者が直接サービスコンピュータ3にアクセスする必要がなくなり、注文手続きを容易にすることができる。

【0033】なお、これらの実施の形態では、インターネットを例にとって説明したが、これに限らず、専用のネットワークなどを介して実施することもできる。また、識別情報の発行を、一個の商品に対して一個の識別情報を発行することもできる。さらに、商品受取時に商品と受取人とを照合するものとして「識別情報」を例にとって説明したが、この呼び名に限られず、「パスワード」や「荷物照合番号」などと称されるものであってもよい。

【0034】

【発明の効果】本発明は、以上説明したような形態で実施され、以下に記載されるような効果を奏する。

【0035】すなわち、本発明は、商品の注文情報を送信するための消費者コンピュータと、当該消費者コンピュータから送信された商品の注文情報を受信する店舗コンピュータと、当該消費者コンピュータもしくは店舗コンピュータに接続可能に設けられたサービスコンピュータとから成る商品注文システムであって、注文された商品とこの商品の受取人との対応関係を商品受取時に照合するための識別情報を発行する識別情報発行手段と、前記識別情報発行手段によって発行された識別情報を、前

記消費者コンピュータまたは店舗コンピュータに送信する送信手段とを備えたものであるので、代理の者が受け取りに行く場合や、匿名で商品を注文した場合であってもその商品を容易に受け取ることができ、より柔軟に商品を受け取ることができる。

【0036】また、住所などが登録されていることを条件として識別情報を発行するようにしたので、配達トラブルが生じた場合であっても、その識別情報を用いることで受取人の住所などの詳細情報を調べることができるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態を示すシステムの概略図。

【図2】同実施の形態のブロック図。

【図3】同実施の形態におけるサービスコンピュータのメモリマップ。

【図4】同実施の形態における識別番号を発行するフローチャート。

【図5】同実施形態の消費者コンピュータにおける表示例。

【図6】同実施形態の消費者コンピュータにおける表示例。

【図7】同実施形態の消費者コンピュータにおける表示例。

*【図8】同実施形態の消費者コンピュータにおける表示例。

【図9】同実施形態の消費者コンピュータにおける表示例。

【図10】同実施形態の消費者コンピュータにおける表示例。

【図11】同実施形態の消費者コンピュータにおける表示例。

10 【図12】同実施形態の消費者コンピュータにおける表示例。

【図13】同実施形態の消費者コンピュータにおける表示例。

【図14】同実施形態の消費者コンピュータにおける表示例。

【図15】第二の実施の形態を示すシステムの概略図。

【符号の説明】

1・・・消費者コンピュータ

2・・・店舗コンピュータ

3・・・サービスコンピュータ

20 12、22、23・・・表示部

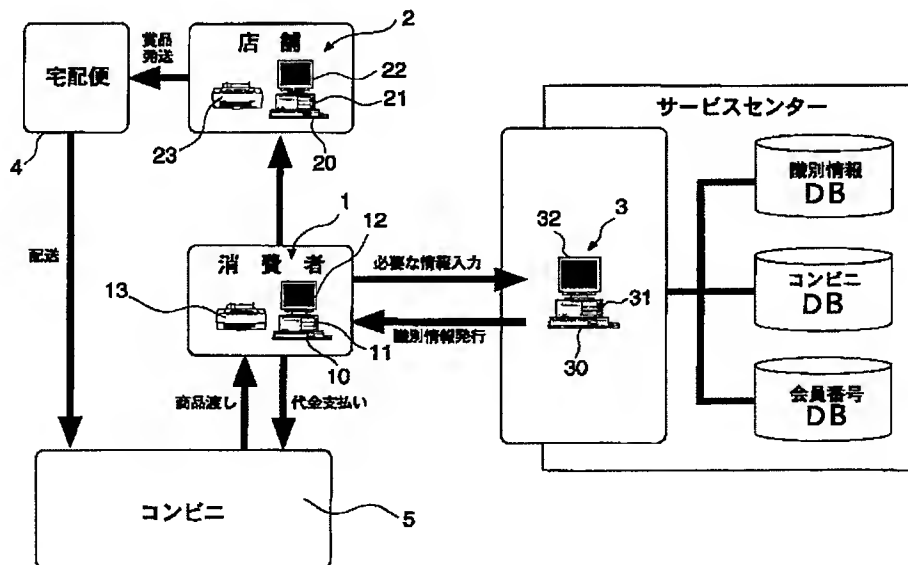
13、23・・・プリンタ

311・・・記憶手段

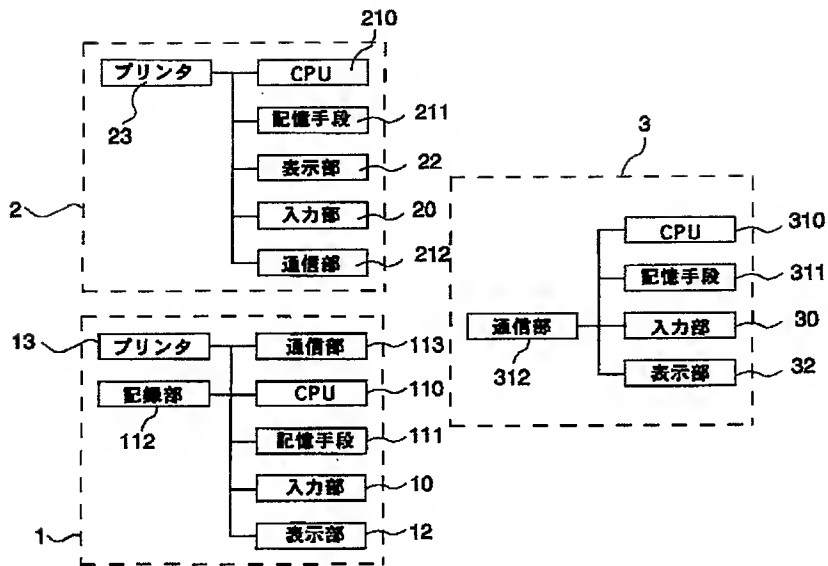
311b・・・識別情報領域

* 311c・・・コンビニ情報領域

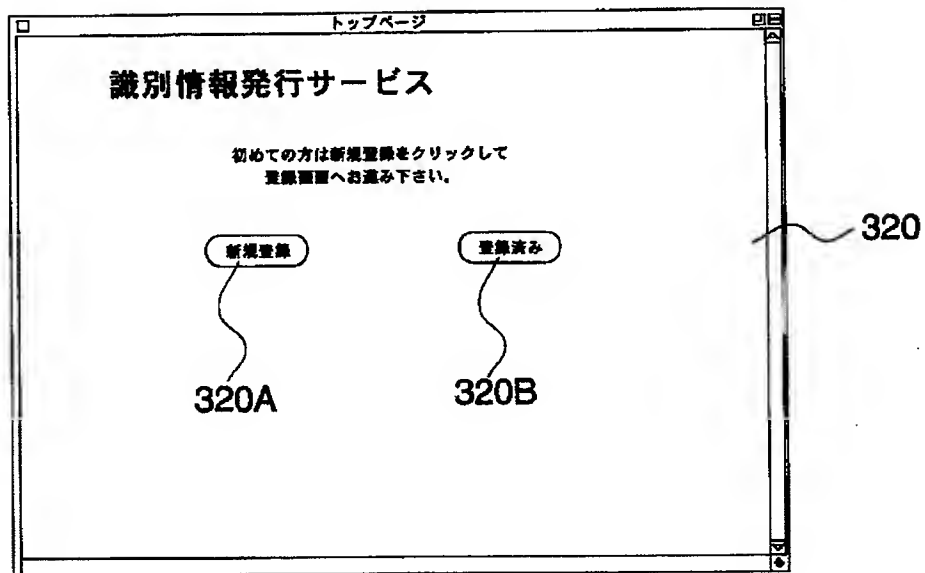
【図1】



【図2】



【図5】



【図3】

311a

会員番号領域

311

311b

識別情報領域

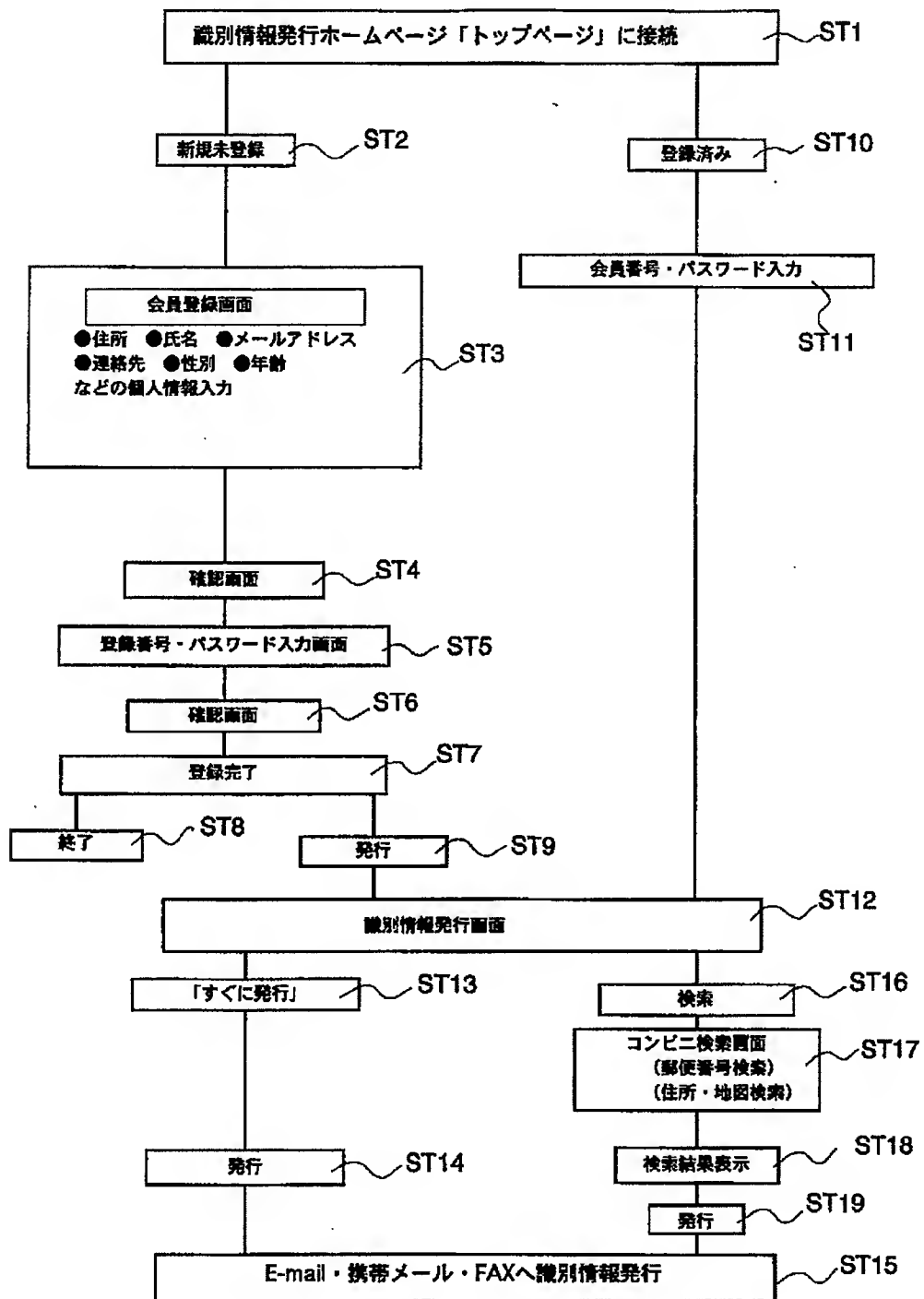
会員番号
パスワード
氏名
住所
メールアドレス
TEL
性別
年齢

311c

コンビニ情報領域

識別情報
会員番号
状態
コンビニ名
住所

【図4】



【図6】

会員登録画面

登録フォーム

必要事項を入力して下さい。

氏名

フリガナ

ご住所-1

ご住所-2

E-mailアドレス

携帯mailアドレス

電話番号

FAX番号

年齢

性別 ☐ 男 ☐ 女

ご職業

識別情報はe-mail以外に携帯メール、FAXで受け取ることができます。
ご希望のボタンをチェックして下さい。

☐ 携帯メール ☐ FAX

送信 リセット

321

321A

【図7】

パスワード入力画面

パスワードの入力

登録番号 (登録名) nishino

パスワードを入力して下さい。
●半角英数字の組み合わせで6～12文字をお願いします。

パスワード

確認のためもう一度パスワードを入力して下さい。

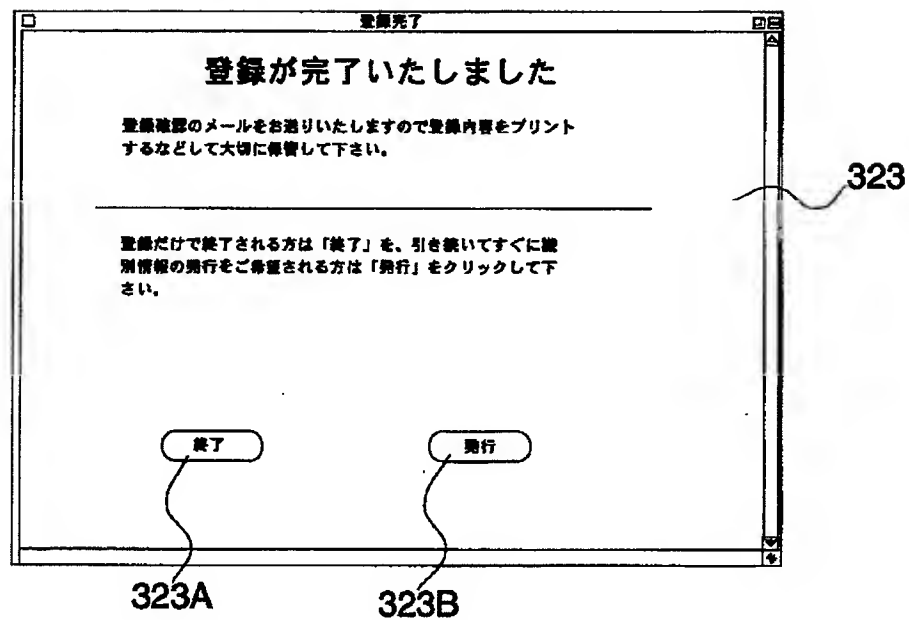
パスワード

送信 リセット

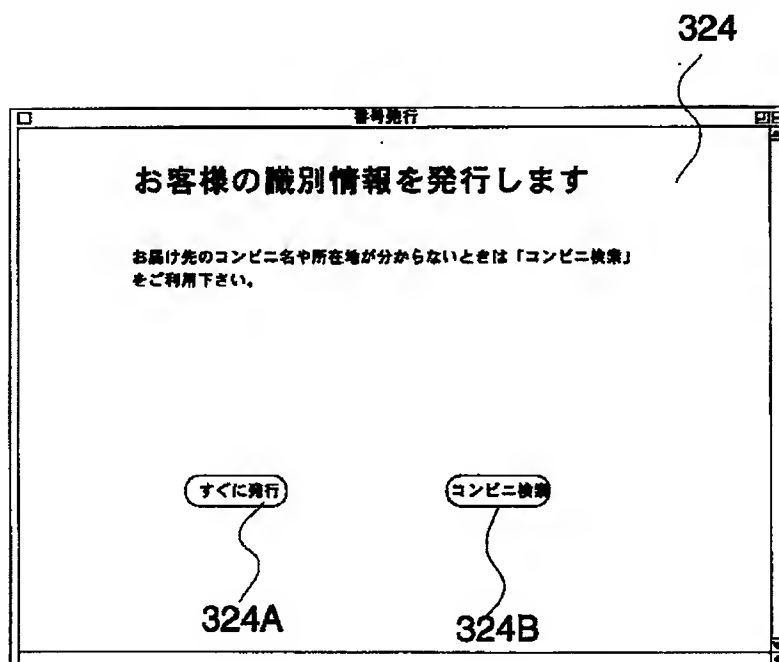
322

322A

【図 8】



【図 9】



【図10】

コンビニ検索

コンビニ名で検索

コンビニ名

店舗名

郵便番号で付近のコンビニを検索

郵便番号

検索するコンビニ ☐ エイトツエルブ ☐ ローソン ☐ ファミリーマーケット
☐ オーパルク ☐ カワサキデリーストアー

住所で検索

都道府県名

住所 付近

325

【図11】

検索結果

該当するコンビニが一件ありまし

コンビニ名

店舗名

所在地

電話番号

営業時間

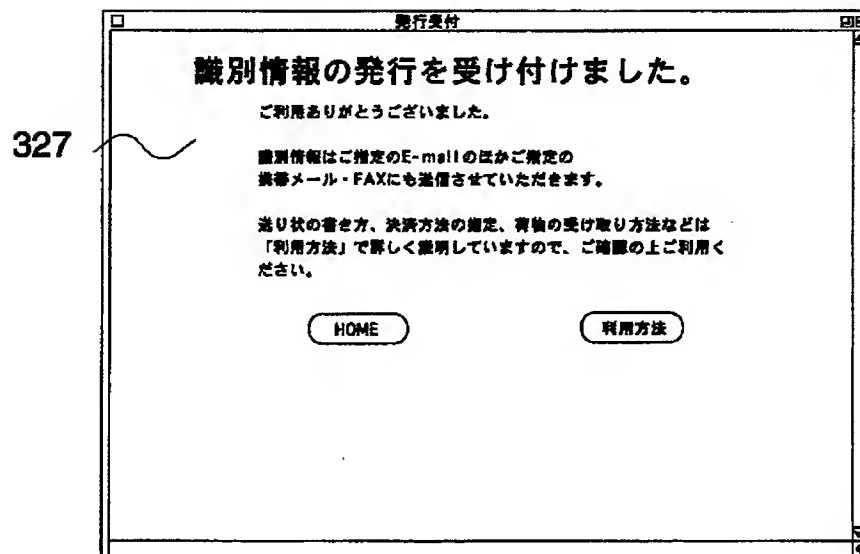
閉店日

荷物受領番号を希望される方は「発行」をクリックして下さい。

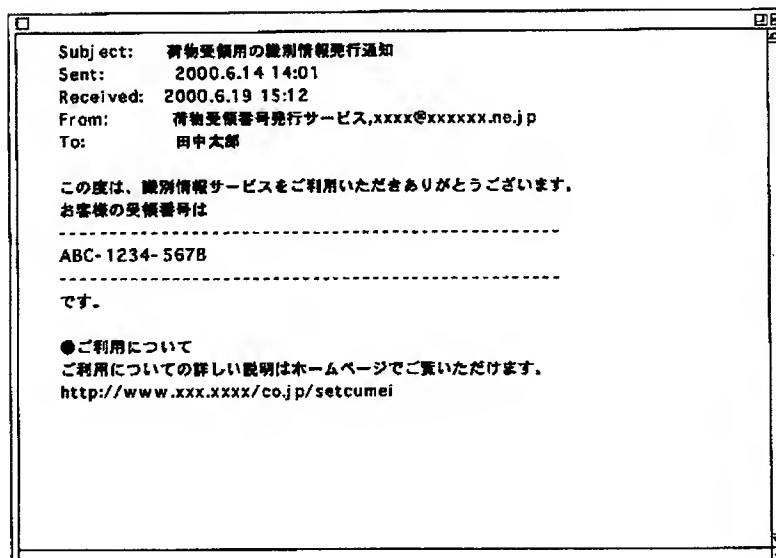
326

326A

【図12】



【図13】



【図14】

お届け先

お届け先をご指定下さい。

お名前	ABC京都店
ご住所-1	京都府京都市北区東野
ご住所-2	〇〇町〇番地
電話番号	075-000-0000
識別情報	ABC-1234-5678

送信

328

【図15】

